

光カメラリンクケーブルをカメラに接続する際に物理的干渉が生じる場合の対処法

1. はじめに

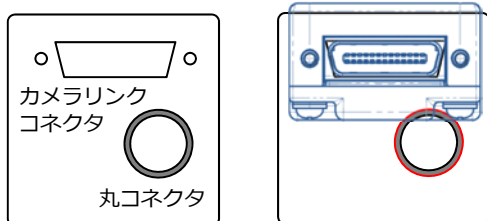
当社の光カメラリンクケーブルは、コネクタハウジングの寸法が金属製カメラリンクケーブルの寸法に比べて大きいので、カメラへの接続時に物理的干渉により正しくコネクタを挿入できない場合があります。本書では、このような物理的干渉を回避して接続する方法について述べます。

2. 物理的干渉の例

カメラ背面図に対して光カメラリンクケーブルのコネクタ(青色線)を投影した概略図を使い説明します。

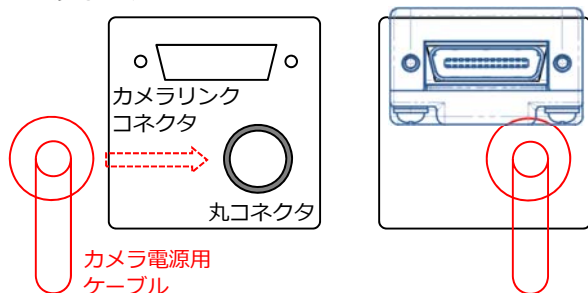
(a) 電源用丸コネクタレセプタクルと光カメラリンクケーブルとの干渉

丸コネクタレセのリング部(右図赤色線)とコネクタハウジングが干渉します



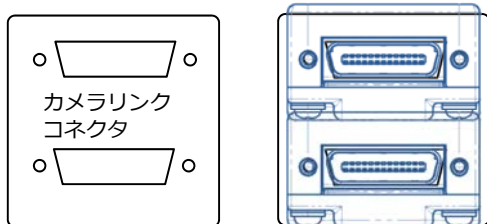
(b) 電源用ケーブルを接続した際のプラグと光カメラリンクケーブルとの干渉

丸コネクタレセに電源用ケーブルを接続すると、プラグの外装部(右図赤色線)とコネクタハウジングが干渉します



(c) 光カメラリンクケーブル同士の干渉

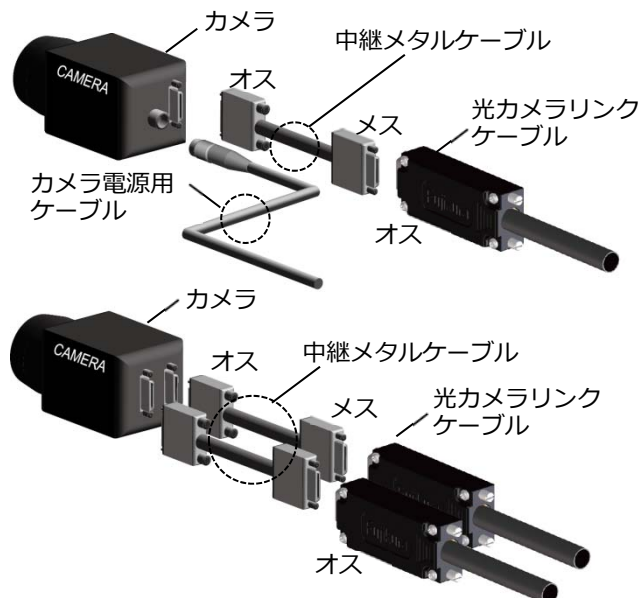
チャンネル 1(Base 側)とチャンネル 2(Medium/Full 側)に接続したコネクタハウジング同士が干渉します。



3. 物理的干渉を回避して接続する方法

中継用のオス-メスコネクタ付金属ケーブルを併せて使用し、干渉しない位置で光カメラリンクケーブルと接続します。中継ケーブルのオス側はカメラに、中継ケーブル

のメス側は光カメラリンクケーブルのカメラ側コネクタに接続します。概要を下图に示します。



4. ご注意いただく事項

- ・中継ケーブルは長さができるだけ短いものを使用して下さい。30cm~50cm 以内が目安です。
- ・Medium, Full Configuration 接続の際は、2本の等しい長さの中継ケーブルを使用して下さい。
- ・Full Configuration 接続の際は、Full 接続に対応した2本の中継ケーブルを使用して下さい。
- ・カメラに PoCL 給電する際は、中継ケーブルは PoCL 対応のものを使用して下さい。

5. その他

- ・本書は情報提供を目的としております。本書に記載された内容を実施した際の接続及び伝送性能を保証するものではありません。
- ・本書に記載された内容を実施するにあたっては、事前に動作を十分にご確認下さい。

A. 中継用金属ケーブルを製造するメーカーの例(敬称略)

- ・ダイトロン (旧 ダイトデンソー)
- ・日星電気
- ・平河ヒューテック
- ・エイム電子
- ・スリーエムジャパン (旧 住友スリーエム)

お問合せ先

フジクラソリューションズ株式会社 営業部
Tel: 03-5244-9083
E-mail: support@fujikura-solutions.co.jp